



# クッキングリハビリ

今月のクッキングリハビリは、白寿荘名物『たこ焼き』です。  
たこ焼きの焼ける香ばしい匂いがフロアいっぱいに広がり  
出来上がりを待ちながら、「何十年もたこ焼き、焼いてんで！」



「学生さんがいっぱい買いに来てくれて、忙しいかったわ。」など満面の笑みで、思い出話を聞かせていただきました。



熱いから、気をつけて！



## 十三夜(じゅうさんや)

十五夜(中秋の名月)から1か月後に巡ってくる十三夜は、十五夜に次いで美しい月といわれ、別名「栗名月」とも呼ばれているそうです。

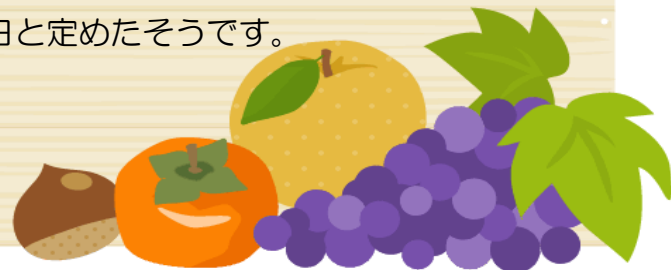
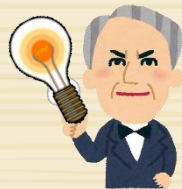
十五夜はあまりすっきりしない夜空であることが多いのに対し、十三夜の夜は晴れることが多いようで、「十三夜に曇り無し」と言われています。

2018年の十三夜は、10月21日です。

そしてもう一つ、10月21日は**あかりの日**です。

エジソンの「3大発明」は電球・蓄音機・映写機です。

その中の、白熱電球が完成したのが1879(明治12)年のこの日で、エジソンの発明を記念して、あかりの日と定めたそうです。



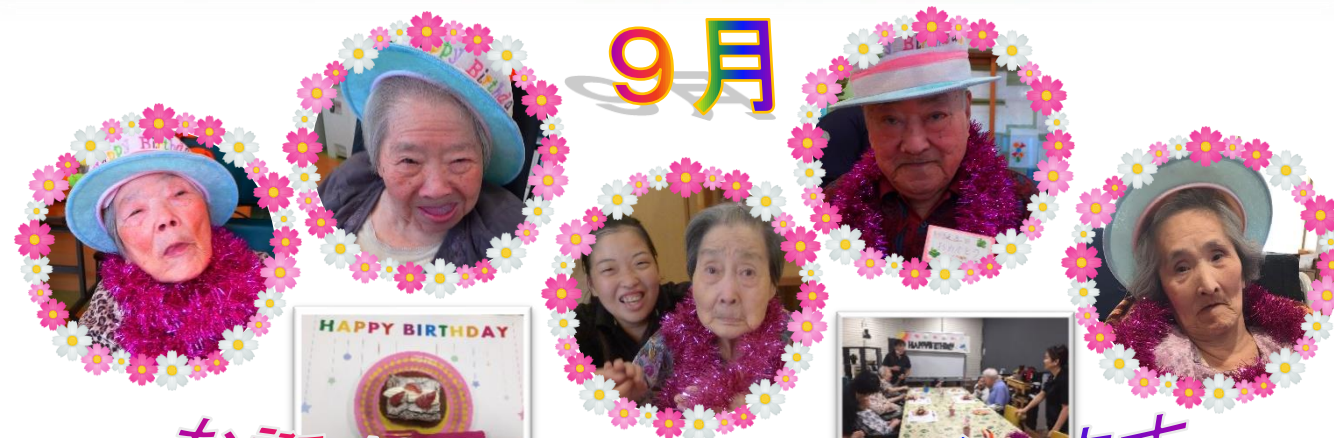
# 白寿荘たより

## 2018年10月号

vol.168



大阪くらしの今昔館にて



### お誕生日おめでとうございます

生江特別養護老人ホーム 白寿荘  
編集責任者 仙石 正哉

社会福祉法人リベルタ ホームページ <http://www.liberta.or.jp/>

白寿荘たより ネット版 <http://www.liberta.or.jp/hakuju/category/hakuju-tayori>



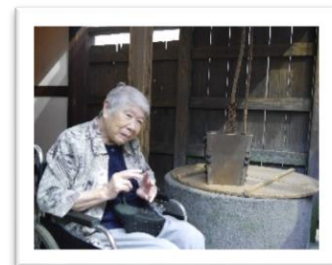
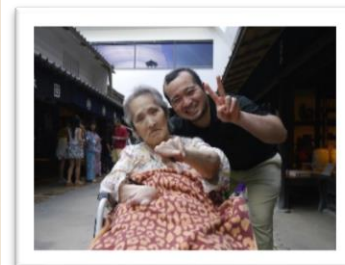
# 敬老の日

9月14日敬老会行事で今年数え年で喜寿・白寿になる入居者様対象で天神橋筋六丁目にある「大阪くらしの今昔館」に行ってきました。

前日まで「行かない！」と言われていた入居者様がおられたのですが、当日、朝から身だしなみを整え、準備されている姿を見て嬉しくなりました。車を降り、天神橋の街並を歩きながら、若かりし頃の天神橋の話に花を咲かせていました。

「大阪くらしの今昔館」では、江戸時代の大阪の街並が実物大に再現されており、井戸などを見て「昔は井戸から水を汲んでたんや〜」と懐かしんでおられる入居者様もおられました。江戸時代の散策も終わり、明治・大正・昭和と近代大阪の街では、白黒テレビが展示されており「あっ。白黒テレビやん。懐かしいわ。チャンネル変える時につまみを回してチャンネルを変えてたんや。チャンネルの取り合いやったで！」と笑顔で言われている入居者様もおられました。昔の大阪の街並を楽しんで頂けたご様子で、職員も嬉しくなりました。

2階 木下



# 敬老の日 行事食



普通食



きざみ食



ソフト食

## ～ 敬老の日 行事食メニュー ～

- ・赤飯 ・鯛の塩焼き ・だし巻き卵 ・南京の炊き合せ
- ・お多福豆 ・天ぷら（海老、きす、ししとう、しいたけ）
- ・牛肉の洋風炒め ・松茸のお吸い物 ・果物（ピワ、巨峰）



9月17日敬老の日に行事食で豪華なお弁当を提供しました。

利用者様からは「うわ〜！おいしそう！」

「ご馳走やなあ！」「こんな豪華な食事、安くではあらへんで〜！」と、食べる前から目をキラキラさせておられました。



ボリューム満点で、普段は提供できない食材を召し上がり、「おいしいわ〜」と言いながら、普段あまり食べられない方も、ペロリと完食されておられました。



管理栄養士 藤原